

## RICOH PJ 壁掛け金具 タイプ2 組立設置説明書

### お客様へ

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。  
本金具の取り付けには専門の技術が必要となりますので、  
販売店や施工業者に依頼してください。

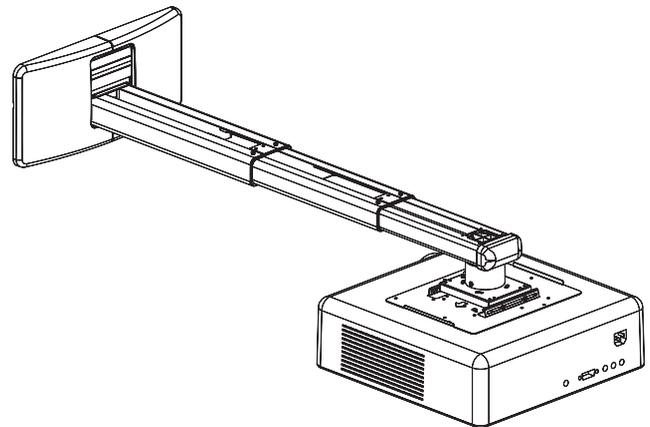
### 施工業者様へ

お客様の安全のため取り付け場所の強度は、本金具とプロジェクターの  
荷重に耐えられるよう十分ご注意の上、設計施工をお願いいたします。  
取り付け場所の構造や強度は、設置環境により異なりますので、  
施工業者様が調査の上、最適な取り付け方法を選択し施工を行ってください。

● 工事を請け負われた施工業者のかたは設置完了後、組立設置説明書(本書)を  
お客様へお渡し頂き、安全上の注意の説明を実施してください。

### もくじ

本機を安全にお使いいただくために 使用の前に必ずお読みください	2~3
製品情報	4
付属品	5
ウォールプレートの壁面への取り付け	6
サポートアームを ウォールプレートに取り付ける	7
PJマウントプレートに プロジェクターを取り付ける	7
投射位置の調整	8
画像サイズを調整する	8
画像高さの調整	9
垂直方向の傾き調整	9
水平ロールの調整	9
水平方向の回転調整	10
ウォールプレートカバー・ウォールカバーの取り付け	10
落下防止ワイヤーの取付け	11



ご使用前に、この組立設置説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。  
また、この組立設置説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。

本機を安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください。

**安全のために、必ずお守りください。**

本説明書ではお使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

■ 表示内容を見逃して誤った取り扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

 **警告** この表示の欄は、死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示の欄は、傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を示しています。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。  
(下記は絵表示の一例です。)



必ず実行していただく「強制」内容を示しています。



してはいけない「禁止」内容を示しています。

 **警告**



**定期的に点検を依頼する**

販売店または施工業者にご相談ください。  
搭載プロジェクターの変形、ボルト等が緩んでいる可能性、もしくは壁等の亀裂、腐食、等が考えられます。そのままの状態で使用されますと搭載プロジェクターが落下する恐れがあります。  
必ず、定期点検のご依頼をしてください。



プロジェクターの取り付け、取り外しは必ず工事専門業者に依頼する  
工事専門業者以外は取り付け、取り外し工事をしない。  
工事の不備により、本金具が落下してけがの原因となります。



プロジェクターや本金具にぶらさがったり、ゆすったりしない  
本金具またはプロジェクターが落下する恐れがあります。



物を掛けない、プロジェクター以外搭載しない  
本金具または搭載物が落下する恐れがあります。

## 警告



### 設置作業は必ず二人以上で行う

本金具の破損、及びプロジェクターの破損を招く恐れがあります。  
また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。



### 長期使用を考慮して設置場所の強度を確保する

設置をする壁面は、本金具とプロジェクターの荷重に十分耐えうる強度を確保してください。強度が不足している場合は補強工事を行なってください。取付けボルトを締め付ける際は、電動工具による締め付けは行なわないでください。本金具が落下し破損するだけでなく、死亡または重傷を負う恐れがあり大変危険です。



### 設置後の方向、傾斜の調整で各調整ねじを緩め過ぎないようにし、調整ねじが抜けやすい範囲で各調整を行う

調整ねじが抜けてしまうと、本金具またはプロジェクターが落下する恐れがあります。



### 搭載するプロジェクターは必ず所定取付位置に設定する

所定取付位置以外で設定すると、本金具またはプロジェクターが落下する恐れがあります。



### 対応機種以外のプロジェクターを搭載しない

本金具またはプロジェクターが落下する恐れがあります。

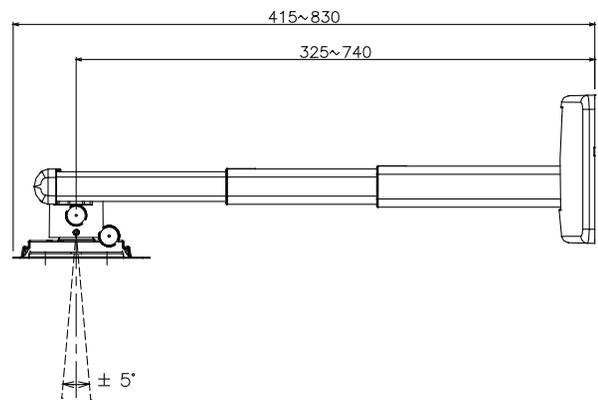
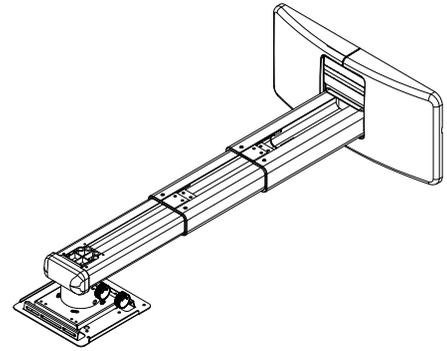
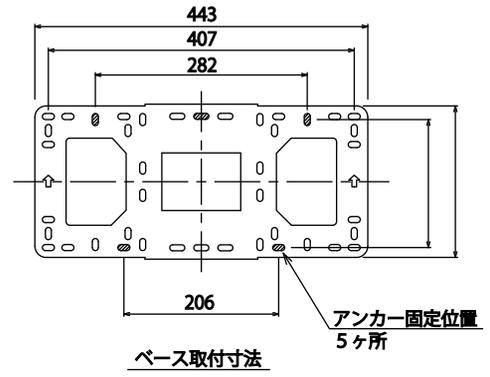
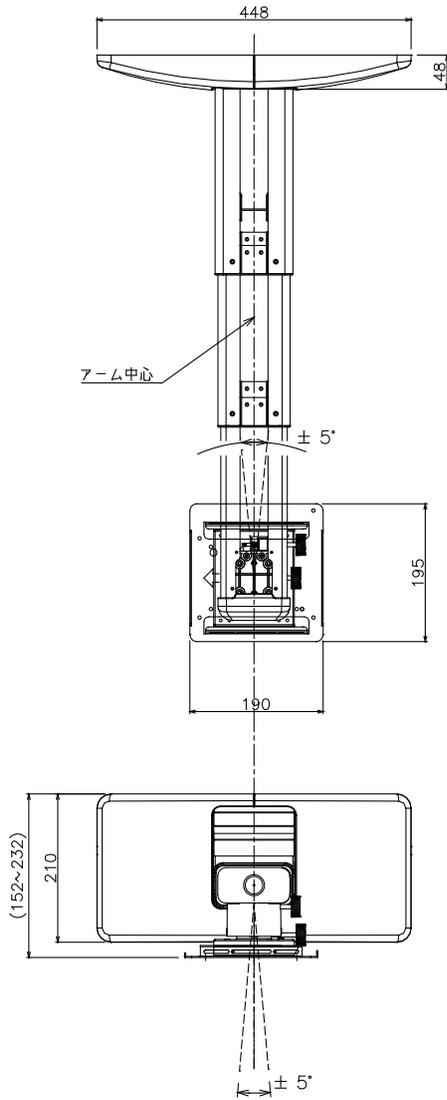
## 注意



プロジェクターの設置にあたっては、プロジェクターの説明書と異なった設置条件での取り付けはしない

■ 取り扱い上の不備、または天災等による事故・損傷について当社は責任を負いません。

# 製品情報

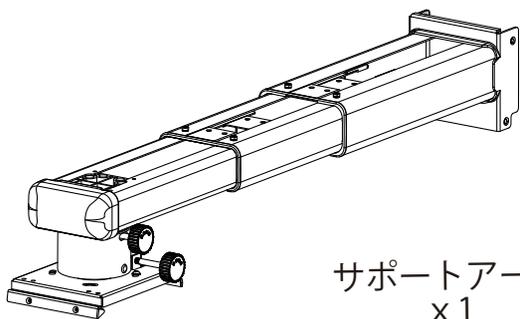


塗 装 色	ホワイト (日塗工 N-93相当)
主 材 質	スチール (フレーム) 樹脂 (カバー類)
外形寸法 W×D×H	448×415~830×152~232mm
質 量	約 5.7kg
対応プロジェクター	RICOH PJ WXL3540 RICOH PJ HDL3530
最大搭載質量	15kg
伸縮長さ調整	415mm
上下長さ調整	80mm
左右位置調整	± 30°
角 度 調 整	回転 ± 5°
	傾斜 ± 5°
	左右 ± 5°

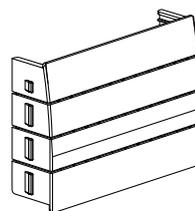
●本製品は搭載荷重をかけるとたわみが発生します。

アームを最大に伸ばした状態	
搭載荷重(kg)	たわみ量(mm)
5	6
10	12
15	18

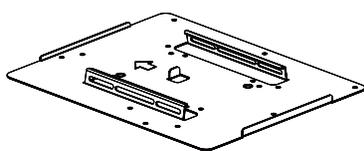
# 付属品



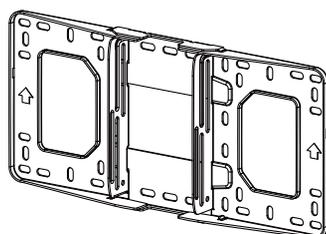
サポートアーム  
x1



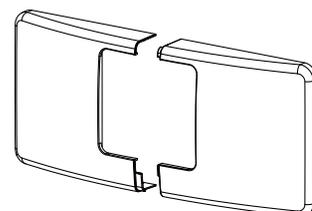
ウォールプレート  
カバー x1



PJマウントプレート  
x1



ウォールプレート  
x1



ウォールカバー  
x1



ワイヤークリップ  
x8



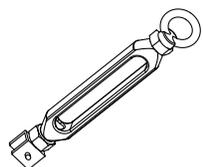
落下防止ワイヤー ①  
(Φ3 / 1000mm) x1



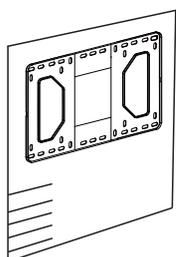
落下防止ワイヤー ②  
(Φ3 / 1300mm) x1



アイボルト  
(M10×18) x1



ターンバックル  
(L160mm) x1



設置用型紙 x1

記号	形状	品名	数量
A		六角レンチ(5mm)	1
B		六角レンチ(3mm)	1
C		プロジェクター取付ねじ (M4×10)	4
D		製品組立用ねじ(M6×15)	4
E		めねじアンカー(M10)	1

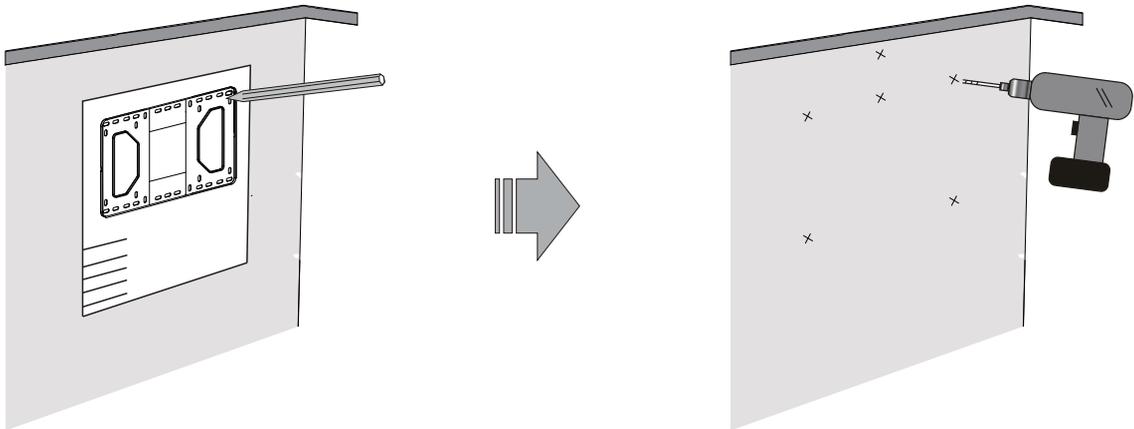
## ステップ1:ウォールプレートの壁面への取り付け

本セット内容の部品は取付箇所、取付方向が決まっています。  
組立設置説明書(本書)をよくご確認の上、組み立ててください。  
組立作業にはあらかじめプラスドライバー、スパナ等工具をご用意ください。  
別途ハンガー固定用のアンカープラグとアンカーボルトをご用意ください。

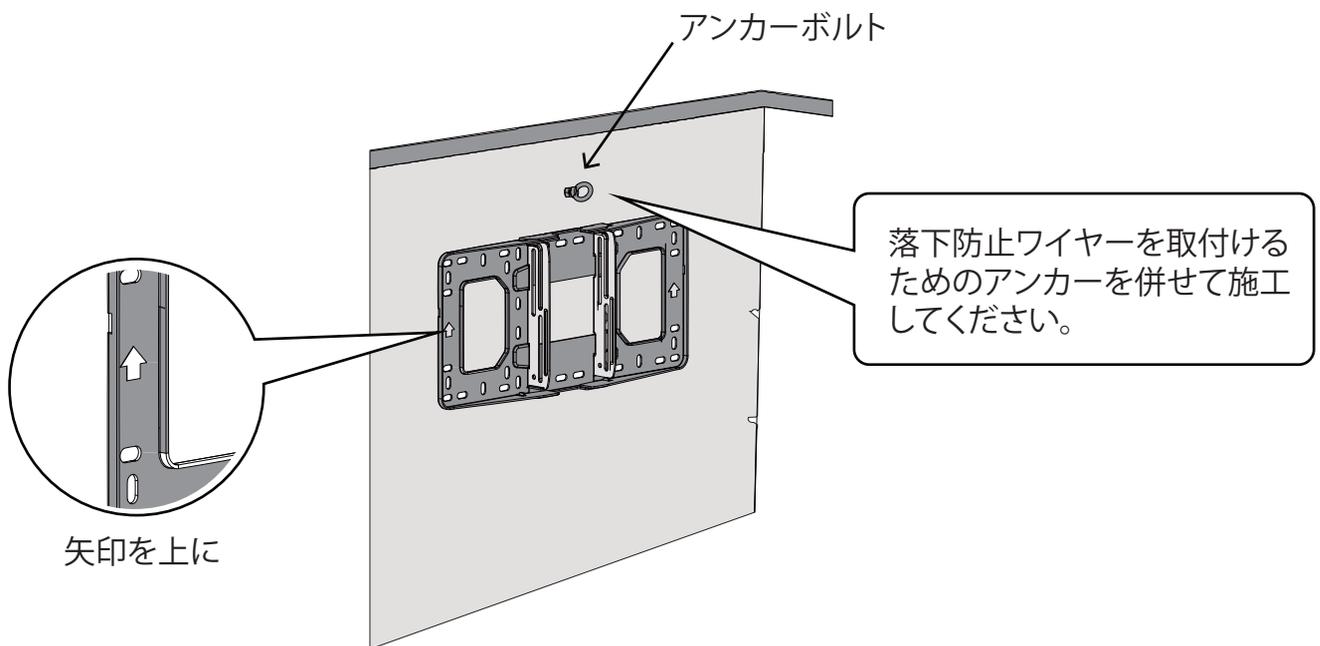
### 警告



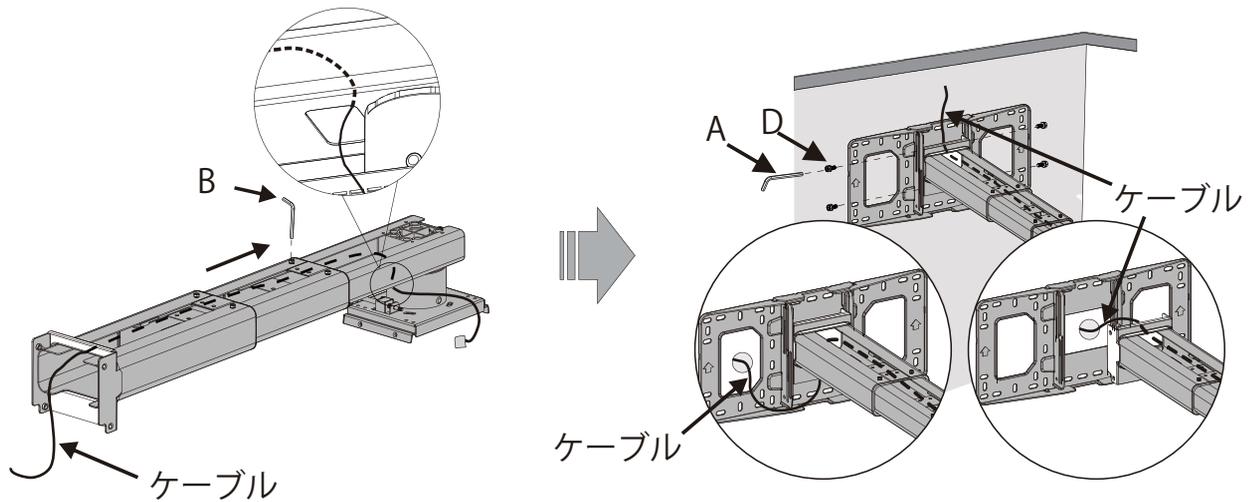
- 設置をする壁面は、本金具とプロジェクターを支える十分な強度が必要です。設置前に本金具とプロジェクターの合計質量をご確認ください。強度が不足している場合は補強工事を行ってください。
- 取付場所の構造や強度は設置毎で異なります。施工業者様が調査の上、最適な取付方法を選択し施行を行ってください。



ウォールプレート取付の際は設置用型紙をご利用ください。



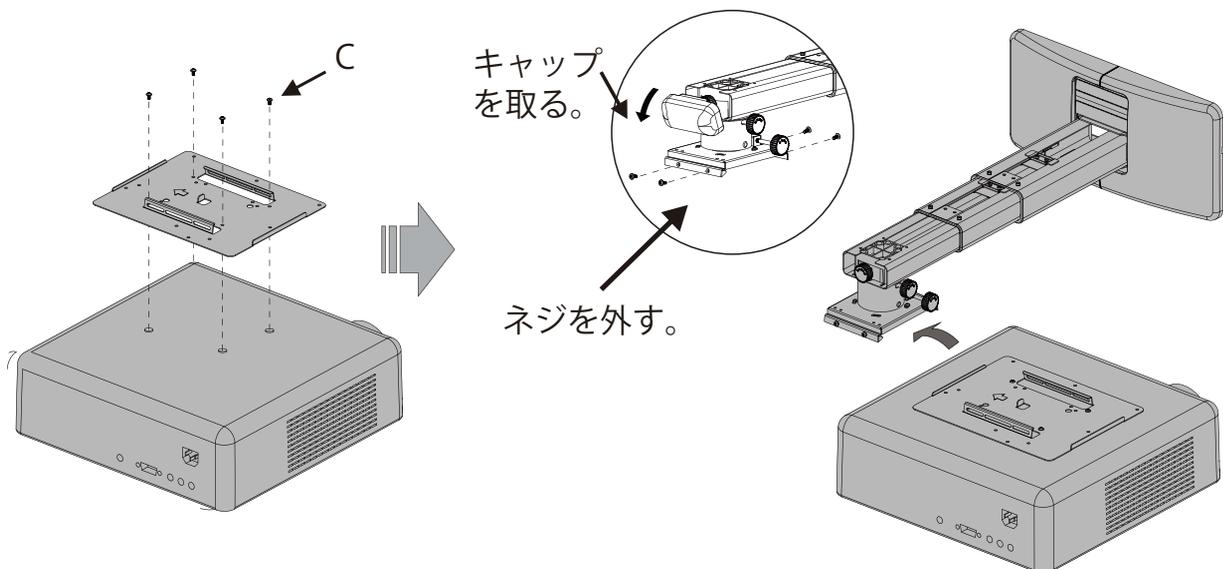
## ステップ2：サポートアームをウォールプレートに取り付ける



付属の六角レンチB（3mm）でネジを緩めサポートアームを約100mm引き出します。  
電源ケーブルと信号ケーブルをサポートアームに通します。

ケーブルは、図に示すように3つの方法でウォールプレートに通すことができます。  
ケーブルを通した後、プロジェクターにケーブルが届くか位置を確認します。  
その後、付属のネジD（M6x15）を締めてサポートアームを固定してください。

## ステップ3：PJマウントプレートにプロジェクターを取り付ける

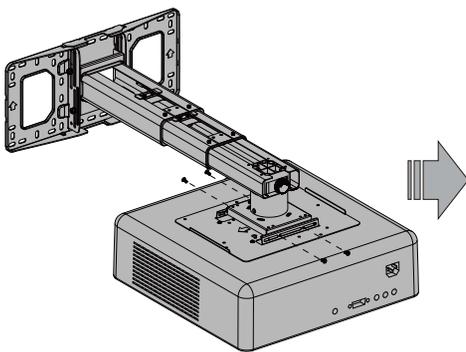
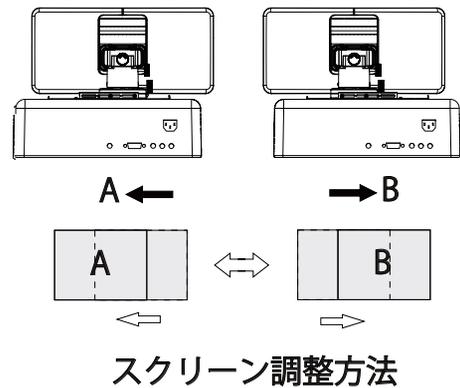
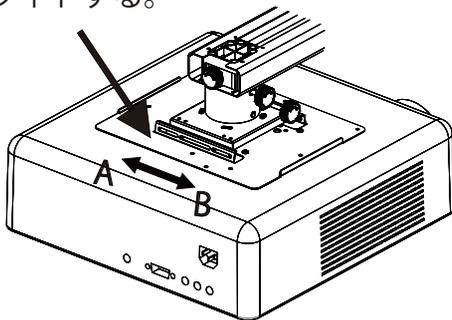


付属のネジCでPJマウントプレートをプロジェクターに取り付けます。

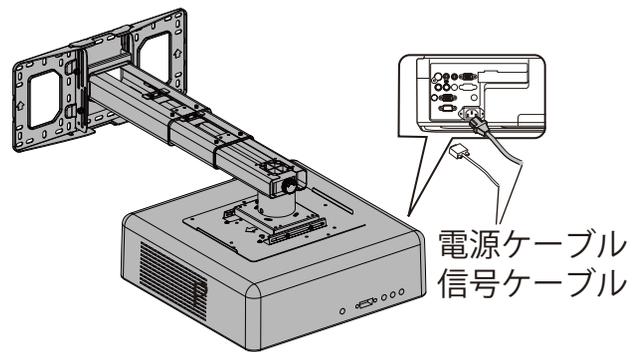
サポートアーム先端のネジを緩めPJマウントプレートを取り付けたプロジェクターを取り付けネジを再び締め付けます。

## ステップ4：投射位置の調整

PJマウントプレートを  
スライドする。

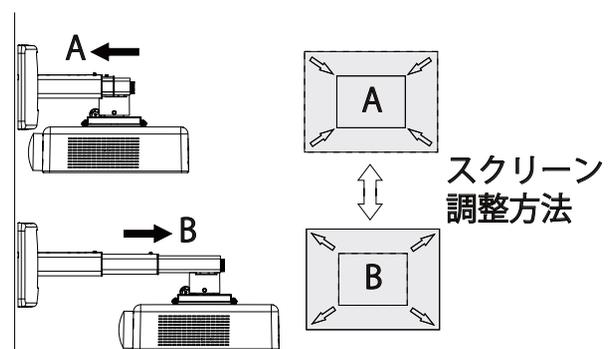
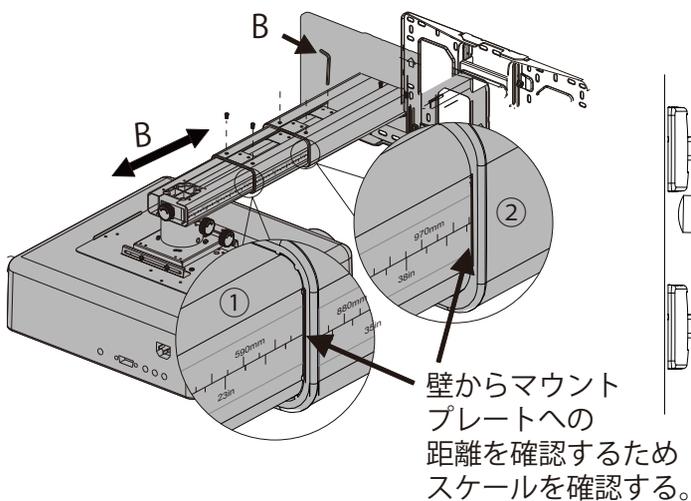


位置を調整したら、  
ネジを締めて固定する。



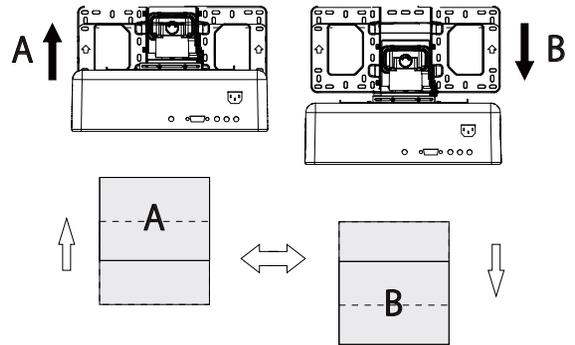
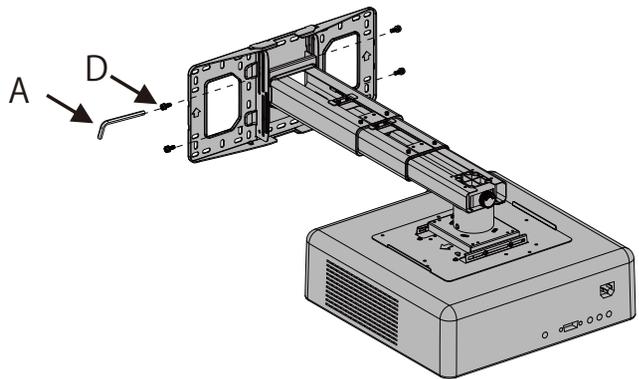
電源ケーブルとその他の信号ケーブルを  
プロジェクターに接続する。

## ステップ5：画像サイズを調整する。



注記：画像サイズをお好みのサイズに調整するには、上記図①および図②に示した順序でネジを緩めます。  
(先端アーム555mmの長さでお好みの画像サイズに適合しない場合、アーム上部のネジを緩めて中央アームを延ばして調整してください。この場合、中央アームのスケールをご確認してください。)

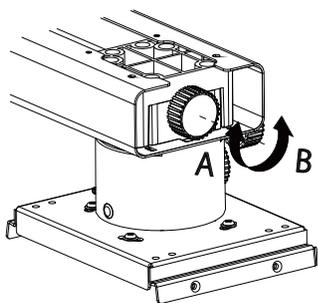
## ステップ6：画像高さの調整



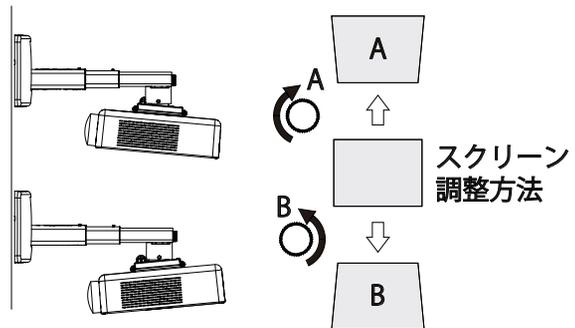
画像調整方向

- ネジDを少し緩めてプロジェクターをお好みの高さに調整してください。調整後は、しっかりとネジFを締めてください。

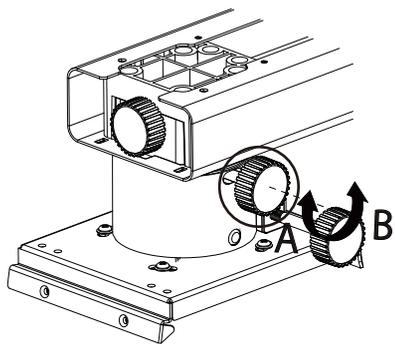
## ステップ7：垂直方向の傾き調整



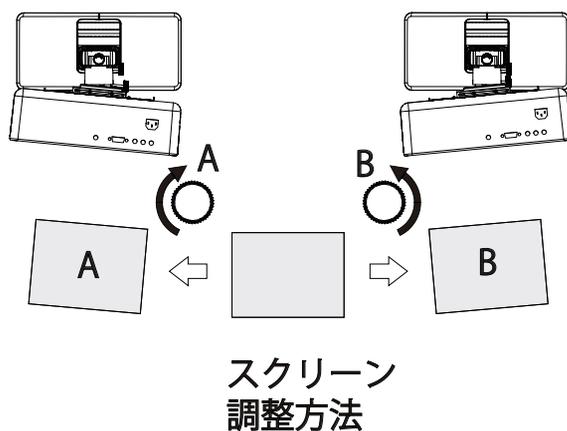
垂直方向の傾き調整ノブ



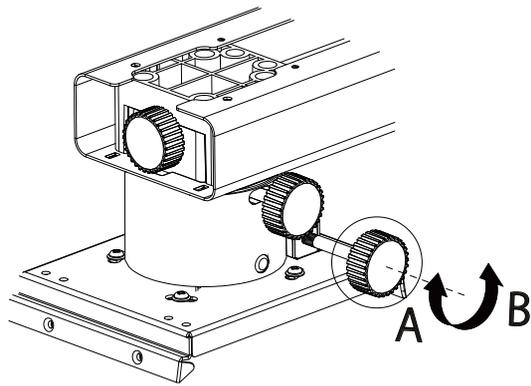
## ステップ8：水平ロールの調整



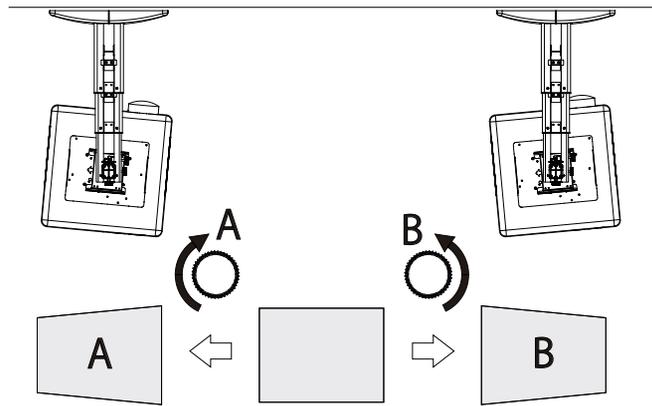
水平ロールの調整ノブ



## ステップ9：水平方向の回転調整



水平方向の回転調整ノブ



スクリーン  
調整方法

## ステップ10：ウォールプレートカバー、ウォールカバーの取り付け

図1

ウォールプレートカバー

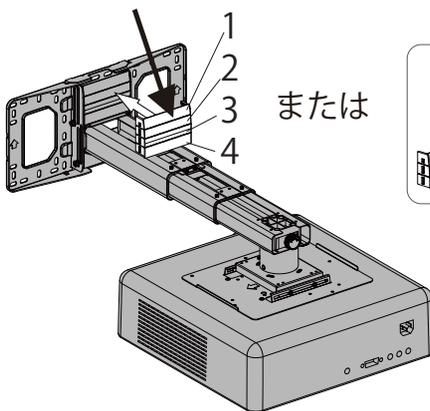
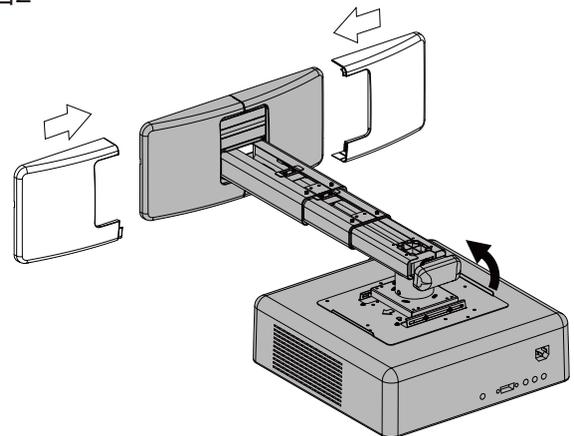


図2



注記：すべての調整が完了したら、図1のようにウォールプレートカバーでウォールプレート上部の空いた部分をカバーしてください。

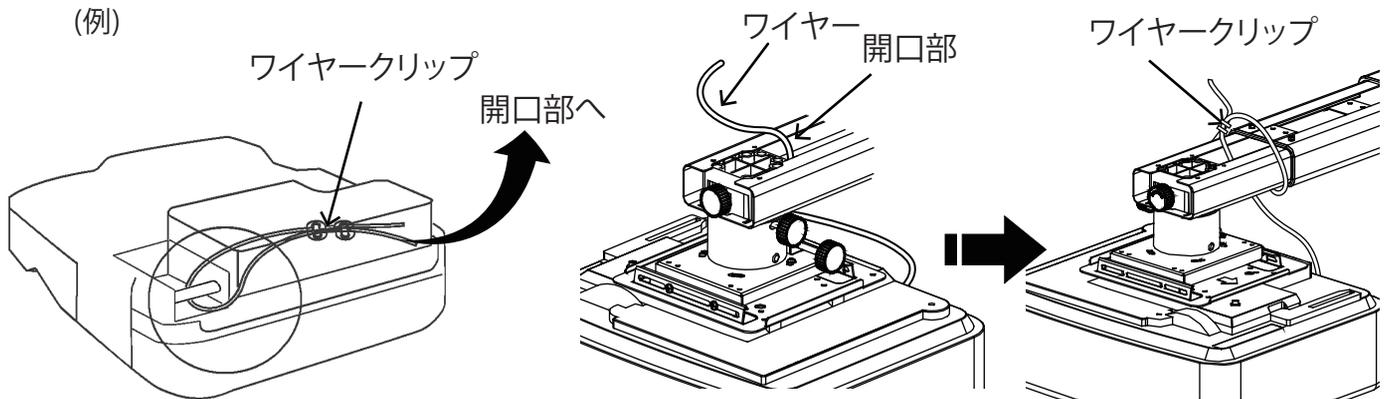
(ウォールプレートカバーの数は、空いた部分の大きさにより調整してください。)

最後にウォールカバーを取り付けます。

(図2の取り付け方を参考に付けてください。)

## 落下防止ワイヤー ① について (PJとハンガーを固定)

プロジェクターのワイヤー用金具に通しワイヤークリップで固定します。  
もう片側は、サポートアームの開口部に通しワイヤークリップで固定します。



## 落下防止ワイヤー ② について (ハンガーと壁面を固定)

壁面に取り付けたアイボルトにターンバックルを取付けます。  
サポートアームのパイプ部分にワイヤーを巻付けワイヤークリップで固定します。  
もう片側を開口部に通しターンバックルにワイヤークリップで固定します。  
固定後ワイヤーが張った状態になるようにターンバックルのボルト部分を締め込んでください。

